

2011年度第9回カンボジアプロジェクト ミーティング議事録

10月21日(金)

参加者：吉田、平川、Ly、安富、江口、曾利、大福、原、肥田、若松

欠席：増田、角谷

司会：原

議事録：若松

【本日の議題】

1. これからの活動
2. SS・SVについて
3. Facebookの自己紹介作成
4. 次回連絡

1. これからの活動

◆ リーダー決定

➤ Facebook：原

- ◇ カンボジアの学生と関大の学生との交流を活発にする
- ◇ スカイプで話し合いたいときにカンボジア側と日程調整する など

➤ 小学校交流学习：肥田

- ◇ Google docの日程表を要確認
- ◇ 12月ぐらいまで(予定)
- ◇ まとめ作業
- ◇ 子どもが作るカンボジア紹介パンフレットのサポート など

➤ SS・SVプログラム

- ◇ SS(受け入れ)：安富・肥田・曾利
- ◇ SV(カンボジアでのショートステイ)：未定

➤ 小学校図書館プログラム：大福

2. SS・SVについて

◆ SS(Short Stay)

➤ 日程決定

- ◇ 12月8日(木)～17日(土)

※実際の活動日：9日～16日の8日間

- 人数
 - ◇ 学生 8 人＋先生 1 人
- 宿泊場所
 - ◇ 先生・・・NGO の寄宿舍
 - ◇ 学生・・・高岳館＋ホームステイ（予定）
 - 高岳館に長期滞在できるかが不明。要確認！
 - ホームステイの受け入れができる家庭を探す

◆ SS・SV プログラムについて

- 特徴（千穂さんの資料より）
 - ① 学校で学んだ知識を実践する
 - ◇ 異なった専門知識をもつ学生(全学部対象)を集め、多様な知識を持つ学生が集まることにより、活動に幅が広がると考えられる。
 - ② 両国の問題を共有して解決のために協力して取り組む
 - ◇ SS と SV の一連の流れの中で、関大生とパニャサストラ大学の学生が協働して活動を行い、両国の学生が、お互いの国の問題を共有することができる。
 - ③ 実践的に英語を活用する機会
- SS (Short Stay)
 - ◇ カンボジアの学生が 10 日間、日本に滞在する
 - ◇ 日本人とカンボジア人の学生が実際にどのような活動をしているのかを知る
- SV (Short Visit)
 - ◇ 日本の学生がカンボジアで社会貢献活動を行う
(例) カンボジアの田舎で図書ブースを作る。
 - ◇ 報告書を作成する

◆ SS プログラムの内容案

- 東日本のボランティアに行っている人との交流
 - ◇ どのような状況か、など
 - ◇ 長谷川先生がボランティア経験あり
- ルミナリエ訪問
 - ◇ 阪神淡路大震災について知る
- イベント参加
 - ◇ ムーレック
 - ◇ NICCO

- レクチャーを受ける
 - 設立の経緯、ミッション、活動内容など
- 国内（滋賀県）の地域開発について
 - 現場での活動を学ぶ
- 大学生のサークルとの交流
 - ◇ 関大サークル
 - HABITAT：海外に家を建てる
 - 点訳ボランティアサークル：点字普及活動など
 - ◇ 関西のサークル
 - Beam：インドの教育支援する、ファンドレイジングなど
 - 夢追人：ラオスに小学校を建てる
 - ◇ 芸大でおこなっている活動（吉野？）
 - 芸大主催なので何かを作る系かも
 - ◇ 天六の地域を活性化せよう
 - 関大の社会学部主催
- 日本人とカンボジア人の1日の活動を比較するアクティビティ

◆ これからの予定

- 関大のボランティアセンター、国際部を訪問する
 - ◇ サオヤマ先生と長谷川先生と顔合わせ
 - ◇ どんな活動ができるかを考える

◆ やること

- 高岳館でオリエンテーション（初日）
- 報告書作成
 - ◇ カンボジアの学生にジャーナルをつけてもらってまとめる
 - ◇ おそらく最終日に時間を設ける
- NGOに訪問する＝平日に2人程度を予定
 - ◇ 通訳してもらうかも
- スケジュール確認
 - ◇ 電車移動などがあるため、2人は確実にほしい
- 交流したい人の募集をかける
 - ◇ SVでカンボジアへ行く人（16人）中心

3. 次回連絡

- ◆ SVの日程決定

- 3月のいつにするか
- ◆ SSの活動内容について話を詰める

文責：若松